

一人一人が輝き、笑顔あふれる茂木中学校



# 茂木の風

「起こせ茂木の風 ～挑戦と感動～」

長崎市立茂木中学校

学校だより 第23号

令和7年12月10日

文責 校長 野田 希世美

## 2学期末の到達目標は何？

早いもので2学期が終わろうとしています。個人、そして学年が9月に考えた目標にどのくらい到達していますか。これは私自身が常日頃自問していることでもあります。つい目先のできごとに左右されたり易きに流されそうなときも自分が決めた目標を思い出し「自分はになりたいのか。」「どこに向かっているのか。」を見失わないことが大切です。9月の始業式では各学年の学級委員が共通して目標としていたことは「授業に集中して学習に力を入れる。」「合唱祭や修学旅行などの行事を皆で力を合わせてやり遂げる。」でした。また先日の各クラスの学級会では1年生「アイメッセージで相手が嫌な気持ちにならないような言葉を使う。」「2年生は「相手の気持ちを考えて自分の発する言動に気をつける。」「3年生は「時計を見て行動・授業中に話しかけられても応えない。」を決めました。よくあることですが、決めたことすら忘れてはいないかを自分自身と学級で再確認して、2学期末を気持ちよく終了できるようにしていきたいものです。

## 合唱祭・人権集会～ご参観ありがとうございました～

12/4の合唱祭・人権集会には多数ご参観をいただきありがとうございました。今年度は多くの生徒に活躍してもらおうと、2つの行事の実行委員が運営、練習や学級での取組、配布プログラムの作成等を担当しました。合唱祭については毎日学年の先生と一緒に練習を頑張る姿がありました。うまくいかないことが多かったかもしれませんが、しかし紆余曲折しながらも「皆で一つのを作り上げる。」ことに意味があると信じます。自分の気持ちを伝え合ったり、時にはぶつかったり、そして折り合いをつけたり・・・これで学級は磨かれていくはずです。そしてやはりそこに「本気」があったのか、または生まれたかどうか。何十年もの間いろいろな行事が生まれ、そして消える中、全国的にも「合唱祭（コンクール）」だけは廃れない理由は何でしょうか。そこに大きな意味があると信じて止まないからだと思います。先日、中学校の同級生と久しぶりに会いましたが、共通の思い出はやはり合唱でした。今でも口ずさめるし情景が思い浮かぶの不思議です。

